

地球環境研究所には、さまざまな分野からの研究者が集まっています

▶ 所員の所属一覧 2019年4月現在

理工学部物質生命理工学科

理工学部機能創造理工学科

理工学部情報理工学科

経済学部経済学科

法学部地球環境学科

地球環境学研究科地球環境学専攻（大学院）

国際教養学部

外国語学部英語学科

総合グローバル学部総合グローバル学科

グローバル教育センター

ISGE 上智大学 地球環境研究所

Institute for Studies of the Global Environment

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

中央図書館・総合研究棟 South4F 412B

TEL: 03-3238-4410 FAX: 03-3238-4409



上智大学ブランディング事業（2016年度採択）

持続可能な地域社会の発展を目指した

「河川域」をモデルとした学融合型国際共同研究

「湿地編」

ISGE 上智大学 地球環境研究所

Institute for Studies of the Global Environment

湿地

とは、簡単に言うと永続的または周期的に地面が浸水することによって成り立っている生態系です。土壌の水分条件や栄養塩の供給源の違い、形成原因からいくつかに分類することができます。



高層湿原
北海道サロベツ



低層湿原
新潟県福島潟



Marsh
台湾高美湿地



Swamp
中国甘肅省



人工湿地：渡良瀬遊水地



人間社会の文化も湿地から大きな影響を受けています。つまり、湿地や湿原には、生物多様性を育む、産業や経済を潤す、公益的サービスを提供するといった様々な役割があります。

湿地が私たちの暮らしにもたらす

恵み

- ▶ 安定な水供給
- ▶ 災害から守る
- ▶ 食料:魚介類や肉、米、海藻など
- ▶ 燃料:薪炭や泥炭など
- ▶ 薬の原料:薬草や抗生物質の産生菌など
- ▶ 建材・工芸品の材料:木材やカヤ、サンゴなど
- ▶ 肥料:上流から運ばれ、川の氾濫によりもたらされる土の栄養分
- ▶ 多様で美しい自然

現在、湿地の消失・劣化は深刻です。日本では明治・大正時代に存在した湿地面積の61.1%にあたる1,289.65平方キロメートルが減少したと言われています。(国土地理院調査)いま求められていることは、湿地を守り、壊さないようにうまくつかうワイズユースの工夫や取り組みです。

私たちの研究は、この時代のニーズにこたえることです。ミクロ(微生物、藻類)からマクロ(河川・湿地環境管理)まで、様々な時間・空間スケールで解析しています。

